

近畿大学教養・外国語教育センター紀要

(一般教養編)

第14巻 第1号

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

Vol.14 No.1



2024

近畿大学教養・外国語教育センター

近畿大学
教養・外国語教育センター紀要
(一般教養編)

第14巻 第1号

2024

近畿大学教養・外国語教育センター

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

2 0 2 4

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第14巻 第1号 2024

目次

■ 原著論文

中学生の運動部活動における友人関係の質と部活動への適応感との関連の検討

西田 順一 1

■ 研究資料

“なごなた”の運動習慣をもつ女性中高齢者における心身の健康と身体活動調査

－1週間の身体活動量から捉えた健康度・生活習慣の特徴－

田中 ひかる・木村 有里・宮田 尚美・佐川 和則 15

■ 実践・事例報告

『笑うスポーツ』によるスポーツの楽しさを伝える取り組み（第Ⅲ報）

－その評価と今後の方向性－

橋本 剛幸 23

保健体育科教員養成課程における中学校体育の学習指導案作成指導に関する一事例

寺田 進志 31

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)
Vol.14 No.1

CONTENTS

Original investigations

Junichi NISHIDA

Friendship quality and adjustment to athletic extracurricular activity in junior high school children
1

Materials

Hikaru TANAKA, Yuri KIMURA, Naomi MIYATA and Kazunori SAGAWA

Survey on physical and mental health and physical activity among middle-aged and elderly women
who have an exercise habit of “Naginata” :
Health and lifestyle characteristics based on weekly physical activity
15

Practical investigations and case studies

Yoshiyuki HASHIMOTO

Efforts to convey the joy of sports through “laughing sports” (Part 3)
– Evaluation of the efforts and future direction –

23

Michiyuki TERADA

A case study on the guidance for the creation of the junior high school physical education in the
health and physical education teacher training course

31

教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）の 投稿・編集・発行等に関する細則

教養・外国語教育センター「近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）」(以下「本紀要」という)の投稿・編集・発行等に関して、次のとおり定める。

1 紀要発行

- (1) 広報出版委員会（以下「本委員会」という）は、毎年度1回、「本紀要」を発行する。
- (2) 必要に応じ、「本紀要」の特集号、増刊号を編集し発行する。

2 原稿作成

- (1) 原稿作成は、各専門分野の慣例を尊重し、それに従うことを基本とする。
- (2) 投稿原稿は、ワープロソフトで作成するものとし、ページおよび行番号をつけるものとする。
- (3) 原稿は次の分量を目安とする。
 - ①和文の場合：A4判横書き、40字×30行の設定で、欧文抄録を除き、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
 - ②欧文の場合：A4判12ポイント30行の設定で、欧文抄録を除き、20枚程度、本文、引用文献、注等を含めて25枚以内。
- (4) 図・表・写真の取り扱いは原則として次のとおりとする。
 - ①図・表・写真は必ず、A4判以内の大きさでそのまま印刷が可能な原稿とし、写真は白黒のものとする。
 - ②図・表・写真は、その大きさが刷り上がりと同様になるように作成する。
 - ③図・表・写真にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に番号順に一括する。
 - ④図・表・写真の挿入箇所は、本文中にそれぞれの番号を明記する。
- (5) 注及び引用・参考文献の記載については、原則として次のとおりとする。
 - ①注には通し番号を付し、本文の該当箇所には、アラビア数字と片括弧をつける。
 - ②引用が、文全体にかかる場合、句読点などの後に、その指示をする。
 - ③引用文献は、本文最後に著者名のアルファベット順に一括する。
 - ④雑誌は、著者名（発行年）、タイトル、誌名、巻（号）ページとする。
 - ⑤単行本は、著者名（発行年）、書名（版数、ただし初版は略）、発行所、発行地、引用ページ（p. または pp.）の順に記載する。

⑥インターネットからの参考文献の記載については、使用ドキュメント名と著者名及び日付けを明記する。ホームページ、URL は著者名、ドキュメント名の後にあげる。

(6) すべての原稿には表題、著者名、所属の欧文を添付し、原著論文には、200 語以内の欧文抄録を添付する。

3 投稿原稿

(1) 投稿原稿は以下の種類と内容で、未発表のものに限る。

①総説

②原著論文

③研究資料

④実践・事例報告

⑤研究・教育上の問題提起

⑥その他（特集記事、新資料の紹介や書評、シンポジウム報告など）

(2) 投稿者（筆頭著者）は、本学教養教育担当専任教員、同専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員及び本委員会で投稿を認められた者とする。

(3) 投稿原稿は、原本に 2 部の複写を添付して、本委員会が指定する期限までに、本委員に直接提出しなければならない。原稿は、プリントアウトした原稿 3 部とともに、電子メールに添付して提出する。その際、パソコン OS の種類及び、ソフト名を明記する。

(4) 著者が投稿原稿を委員に提出した日を、「原稿受付日」とし、掲載決定日を「原稿受理日」とする。

4 採否決定

(1) 編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿の採否を審議する。

(2) 編集委員会は、必要に応じ著者に対して原稿の訂正、修正、加筆等を求めたうえで、原稿の採否を決定する。

(3) 採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

5 著作権

「本紀要」に掲載された論文等の著作権は、近畿大学全学共通教育機構「教養・外国語教育センター」に帰属するものとする。

6 校正

- (1) 著者が行う校正は、原則として第2校までとする。
- (2) 校正の期間は、初校、2校とも1週間以内とする。期間に間に合わない場合は、原則として、その原稿は、次号回しとする。
- (3) 校正の段階での著しい訂正、修正、加筆等は禁止する。校正の段階で、大幅な訂正、修正、加筆等が必要になった場合は、その原稿は次号以降、再度、採否を審議、審査する。

7 公開・管理

- (1) 本委員会は、作成された紀要の電子ファイルを「近畿大学学術情報リポジトリ」において公開する。
- (2) 他大学等から送付されてきた紀要類は、本委員会が管理する。

附 則

この細則の改正は、広報出版委員会において行う。

この細則は、平成29年5月21日から施行する。

執筆者紹介（掲載順）

西田 順一	近畿大学経営学部
田中 ひかる	近畿大学経営学部
木村 有里	岩崎学園 横浜保育福祉専門学校
宮田 尚美	名古屋市立南光中学校
佐川 和則	近畿大学経営学部
橋本 剛幸	近畿大学経営学部
寺田 進志	大阪国際大学人間科学部

編集委員会

西田 順一（委員長）	経営学部教授
佐川 和則（副委員長）	経営学部教授

編集後記

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）第14巻第1号をお届けします。今回は、健康・スポーツ科学の内容に関する4編の投稿をいただきました。

さて、世界的な感染拡大の状況等から2020年3月に新型コロナウイルス感染症をパンデミックとすることが表明されました。COVID-19が確認されて3年余り、医療機関や高齢者施設等の現場では医師や看護師等、多くのエッセンシャルワーカーの皆様が感染症の対策にあたられました。また、スポーツや運動現場でも、大きな制限を受け、運動・スポーツの実施機会が著しく減少しました。この影響から運動・スポーツ科学研究も様々な面で制限を受けました。

以降、コロナ禍と呼ばれる時間が流れ、2023年5月8日にCOVID-19は「5類感染症」に位置づけが改められました。これより種々の活動が元に戻りつつあり、象徴的な感染対策のマスク着用は個人の判断に任されるようになりました。現在は第10波に入っています。不安が無い訳ではありませんが、前向きな気持ちを維持できています。

コロナ禍で改めて考える機会が得られた運動・スポーツの意義や価値等をベースにこの領域の研究を発展できる時期に来ていると考えます。本誌も今後、さらなる運動・スポーツの発展に貢献できることを願ってやみません。

今回執筆いただきました著者の皆様はじめ何度も丹念に論文審査にご協力いただきました審査員の方々へお礼申し上げます。

末筆ながら、本誌前編集委員長の佐川和則教授が本年3月をもって定年退職を迎えられます。ご負担の大きい編集業務を長年にわたり一手に担われてきたこと、心より御礼申し上げます。

（西田順一）

近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）

第14巻 第1号 2024年

令和6年3月20日 印刷

令和6年3月31日 発行

発行人 戸井田 克己

発行所 近畿大学全学共通教育機構
教養・外国語教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 株式会社 近大アシスト

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(LIBERAL ARTS EDITION)

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

ISSN 2185-7032



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY